

南館則江さん（岩手町出身、平成 25 年に一関市から移住）

自主性を育む少人数教育の魅力

仲間と楽しむ葛巻の子育て



葛巻町のお隣、岩手町出身の南館則江さん。クリーンエネルギーや子育て支援に力を入れる葛巻町の取り組みに、以前から強く惹かれていたと言います。

ご主人は転勤が多い仕事でしたが、一関市で東日本大震災を経験したことをきっかけに、かねてから憧れていた葛巻町へ家族で移住することを決意。2013年に、町内の中心部から離れた、畑や草草が広がるのどかな集落へ木のぬくもりあふれるマイホームを築きました。子供たちは、学区内の複式学級の小規模校に通います。

「夫の仕事のこともあり、周囲から心配もされましたが、子どもをのびのびとした教育環境で育てたいという私の強い思いがありました。先生が目が行きわたり、それぞれの子どもの個性や感性を尊重した教育ができるのは、少人数学級ならではの。先が見えない時代だからこそ、自主性を育む教育ができるのは大きな強みです」と南館さんは少人数学級のメリットを語ります。

さらに南館さんは、自身の経験から、孤立しがちな母親たちの仲間づくりや交流の場として、子育てサークル「なないろ・きらきら」を立ち上げ、英語教室やわらべ歌、お菓子や雑貨づくりのワークショップなどを行う活動を始めました。

移住後に4人目のお子さんが誕生し、南館さんは賑やかな家族とたくさんの仲間にも囲まれ、葛巻町で手に入れた理想の生活と子育てを、日々楽しんでいます。

移住生活を綴っている、南館さんのブログはこちら↓

https://inaka.arukikata.com/iwate/kuzumaki/blog/iwate_kuzumaki_03/

または、「田舎の暮らし方 葛巻」で検索！